



2020年12月7日

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会  
TC協会会員各位

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会  
代表理事 山崎 敏正

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会  
会員登録のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は当協会の活動にさまざまなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

2018年からWGとしてスタートした本活動は、外部から有識者を招へいして知見修得をしやすいするために、2019年から製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会として、組織形態を改めて活動を進めました。TCシンポジウム2019および2020にて活動成果の一端を公開しております。

TC関係者が求める解析および評価技術の運用知見を、ネット公開を中心とする製品・サポート情報に適用する技術として可及的速やかに実用水準に近づけるべく、企業の枠を超えて協同研究・検討を進めます。2021年も引き続きAI活用を想定するマネジメント視点を加えて、プロセスを包含する技術として扱えるように取り組みます。また、非文書(チャットなど)、非構造化情報(動画など)のアクセス解析も対象に加ええます。

つきましては、下記要領にて皆様から製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員を募集いたします。ご多忙中、恐縮ではございますが、主旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。 敬具

記

■登録いただく実務技術研究会員

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会

■実務技術研究会員の任期

2021年1月～2021年12月を予定

■実務技術研究会員の役割

情報の3循環「つくる・つたえる・つかう」において、PDCAサイクルを実現する要になるのが解析技術です。情報利用者が主に接する情報媒体と情報形態が急速に変化し始めた今日、「情報をつかってもらう(体験価値の提供)」の実現のために、情報利用者がどのように情報にアクセスしたのかを示すデータの活用に関する実務技術が欠かせません。本実務技術研究会では、Web業界およびマーケティング業界で普及している解析技術のTC分野における実践的活用方法について議論します。特に、所属企業が知財に関する権利を保有する解析対象データを取り扱う担当者の参加を求めています。

■実務技術研究会の開催頻度

定例は隔月開催で年6回程度(第1回研究会開催時に年間の予定を決める予定)です。一部有志による追加活動も予定します。

■概略日程

●前期(1月～6月)

- ・2020年活動成果の文書化とその公開内容の確認
- ・アクセスデータの活用に関する実務技術の調査、考察、試行
- ・AI活用を想定したマネジメント視点を加えた検討(構造化、非構造化、半構造化などの知見更新を含む)

●後期(7月～12月)

- ・非文書(チャットなど)、非構造化情報(動画など)のアクセス解析
- ・TCシンポジウム2021での成果発表

●通期

- ・プロセス管理、品質管理に寄与する技術としての議論への展開
- ・有識者を交えたワークショップの開催(取り組み事例によるケーススタディなど)

■申し込み締切日

別紙の登録用紙に必要事項を記入し、12月25日(金)までにFAX(03-3368-5087)またはメール添付(tc-info@jtca.org)にてTC協会事務局までご連絡ください。

以上

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-34-2  
第一後藤ビル 101号室  
Tel:03-3368-4607 Fax:03-3368-5087  
<https://www.jtca.org>



2020年 月 日

TC 協会事務局 行(FAX:03-3368-5087)  
またはメール(tc-info@jtca.org)にてご連絡ください。

## 製品・サポート情報における解析取り組み 実務技術研究会員登録用紙

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員として、次のメンバーを登録いたします。

会員番号	
登録者氏名	
会社名	
部署名	
住所	〒
電話番号	
FAX番号	
E-Mail	

第1回実務技術研究会は、2021年2月1日～28日のいずれかでの開催を予定しています。委員には決定次第連絡いたします。